

さんが

第 六三 号

曹洞宗 東運寺

京都市伏見区淀新町六一八―一

平成 二一 年

TEL 〇七五―六三二―二二七二

西暦 二〇〇九年

FAX 六三二―五七二五

秋彼岸九月号

E-MAIL toujij@softera.jp

きょう彼岸

—— は菩提の種を蒔く日かな
とつづく句の頭です。松尾芭蕉の作と聞
きます。

「菩提」を仏教語辞典で引いてみると、
「悟りの智慧」と出てきます。お彼岸にあ
たり、悟りの種を蒔きましょう、というこ
とになるでしょう。

「悟りの種」というものは、残念ながら
スーパーや種屋さんでは売っていません。
また、見えるものでも、触れるものでもあ
りません。そんな種を、いったいどうやっ
て蒔けばいいのでしょうか・・・。

ところで、ふつうの種は蒔かれただけで
は芽を出しません。たとえば水や太陽、適
度な肥料が必要かと思えます。じつは、「悟
りの種」もおなじです。

ここを読んでいただいているみなさん
にも、水や太陽や肥料に当たるもの、つま
り自分が日々を送るにあたって、育ててく
れたり、助けてくれたりするものがありま
すよね。



それは、ピンチの時にこそ気がつくもの
かも知れません。

それは、ときに耳に痛いものかも知れま
せん。

ところが、それらが自分にとっての水や
肥料だと気づいたとき、じつは悟りの種を
もらっていたのです。

では次は、手にした種を蒔いてみるこ
とにしましょうか。これにはコツがあります。
今度は、まわりの人たちの、水や肥料にな
ってあげるのです。

これはなかなか実践できないですが、
与えることによって、自らも満たされる、
ことを実感できる機会はあるのだと思
います。その幸せの方が長持ちするのだ、
と信じています。

「悟りの種」はとなりの畑に蒔くと、自
分のところにも芽が出てくる、というふし
ぎな特長があるわけです。

住職が五十年表彰を受けました

昭和三十四年よりこのかた、住職としてのつとめが五十年となり、このたび曹洞宗から表彰を受けました。

これもひとえに、檀信徒みなさまの長年にわたるお支えのたまものと、深く感謝申し上げます。

じつはこれを機に、来年早々での住職交代を考えています。とはいえまだまだ元気です。ですので、これからよろしくお願いします。

傘の忘れもの

おあずかりしています

七月の施食法要のときに

雨傘二本 黒・ピンク

八月のお盆中に

日傘二本 黒（バラの刺繍）

白地に黒の水玉

あわせて四本、お寺にあります。
お心当たりの方はご連絡ください。

◆◆ 団参のご案内 ◆◆

今年の名古屋・岐阜方面です。

タイ国王から寄贈された、お釈迦さまのご遺骨を安置する名古屋・日泰寺参拝と、日本ライン下りなどの観光です。

日時 10月22日（木）～23日（金）

宿泊 岐阜県

長良川温泉（ホテルパーク）

参加費 三三、〇〇〇円

☆★ 子ども参禅ご報告 ☆★

東運寺からも十三名、全体では三十名を超える子どもたちが、若住職夫婦とともに参加いたしました。

会場は大乗寺という古刹で、正式な修行道場。朝は四時から、坐禅や法話、朝の勤めへの参拝、掃除などの修行体験です。

お寺のほかには、シルクスクリーンでオリジナルのエコバッグを作ったり、宇宙博物館でほんものの月探査機を見学したりと、楽しい時間も過ごすことができました。

☆★ 古本ボランティア ☆★

おかげさまで、夏前に九度目の発送をいたしました。今回はわりと新しい本やCDが多く、高い値段をつけていただいたようです。

この企画も六年目をむかえ、累計はじつに十二万円を越えてきました。

お力添えをいただいていた皆さまには、あらためて深くお礼を申し上げます。